太宰府市子ども・学生未来会議に参加しました

今日は、太宰府市子ども・学生未来会議でした。市内の３小学校と２中学校、そして太宰府市長をオンラインでつなぎ、「未来の太宰府まちづくり」をテーマに意見交換をしました。本校からは、第３７期生徒会から会長と副会長２名の計３名が参加しました。３名ともしっかりと意見発表をしました。およその意見は以下のとおりです。

・女子副会長　･･･　公園にゴミ箱を設置し、ポスターで呼びかけをする
・生 徒 会 長　･･･　上記の意見に付け加えて、「ポイ捨て禁止」のポスターを描く
・男子副会長　･･･　西中体育館をバリアフリーに改修してほしい

ここには簡単にしか載せていませんが、３名とも提案理由と具体的な方策を堂々と述べていました。大変立派な意見発表を市長にしました。市長もしっかりと意見を受け止めていただき、現時点での回答をしていただきました。

また、会の最後には自由な意見発表の場があり、再び３名が以下のことを意見発表しました。

・男子副会長　･･･　給食の導入を！近くの学校同士で分け合えば、新たな施設は不要
・女子副会長　･･･　特別支援学級の教室にもテレビの設置をしてほしい
・生 徒 会 長　･･･　教科書を置き帰るため、教室の棚を増やしてほしい

３名とも、学校の現状をもとに、要望を挙げていました。これらの意見は学校からも太宰府市教委へ挙げていることですが、子ども達から市長に直接言ってもらうことは、とてもありがたいことです。子ども達からの意見ですので、さすがに市長も即、ＮＯとは言えませんので、検討することを約束してくれました。

今日のこのような会議の様子を見ていると、改めて『民主主義』の大切さを感じます。お互いが自由に意見を述べ、それを受け止め、会議を進めていくということの大事さ、そして意見の重みは小中学生も市長も同じであるということです。もちろんすぐに今日の意見が実現可能であるとは言えませんが、小中学生の意見にきちんと耳を傾け、それを受け止めるということは、大変ありがたいことです。今日の体験を通して子ども達は、民主主義や話し合うことの大切さを感じたり、ますます太宰府市が住みやすいまちになるために色々な意見を考え、出し合ったりするようになると思います。さらには、政治にも関心をもつようになります。市長とか、市政とかは、どこか遠くに感じていたことを、身近に感じられるようになり、さらには自ら参画していこうという意欲をもつようになります。

今日の体験をとおして、生徒会役員の３名は、西中の生徒会活動もより活発にしよう、そして、西中をより良くしよう、と思ってくれることと思います。これからの生徒会活動に期待します。

太宰府西中学校会議室でタブレットを使ったオンライン会議に参加しました